

経営比較分析表（令和4年度決算）

埼玉県 越谷・松伏水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	85.25	99.99	2,805	

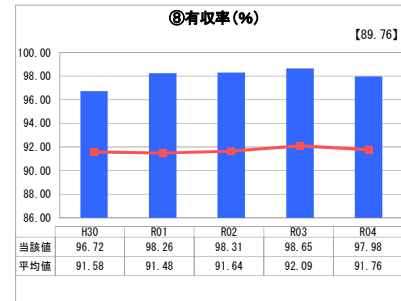
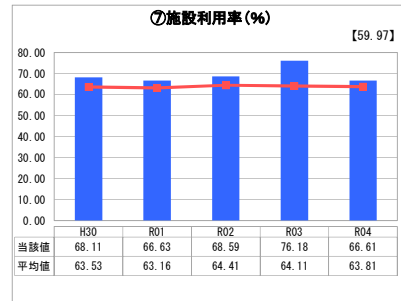
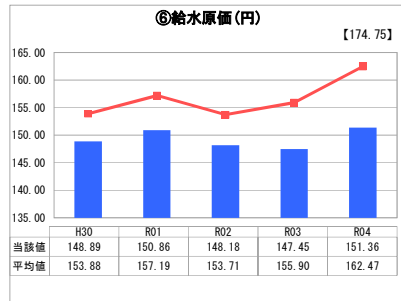
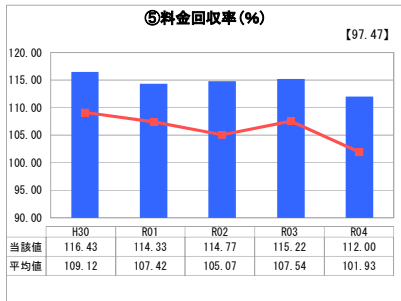
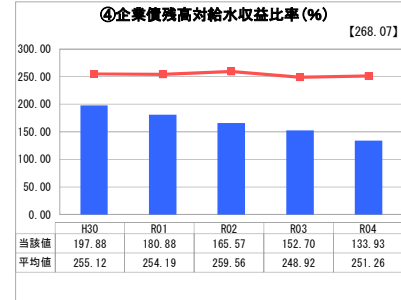
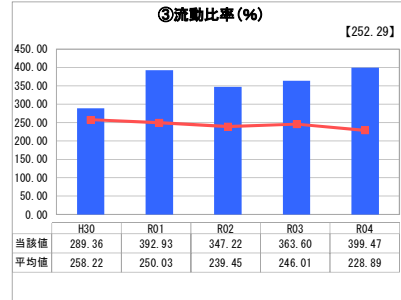
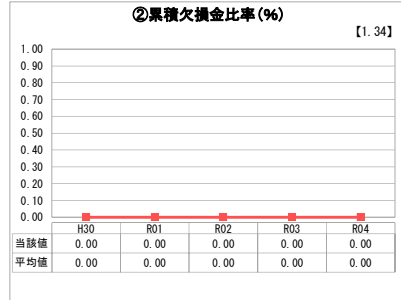
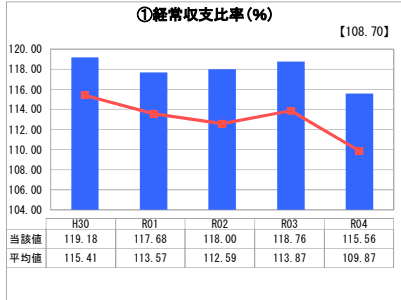
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
371,890	76.44	4,865.12

グラフ凡例

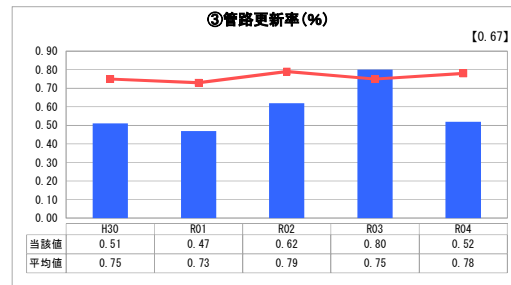
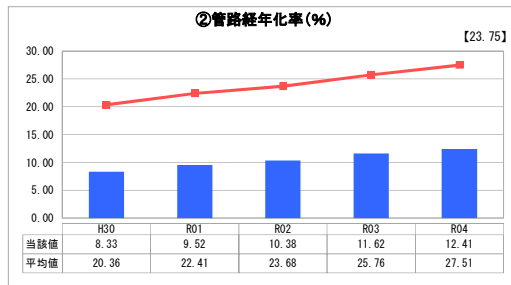
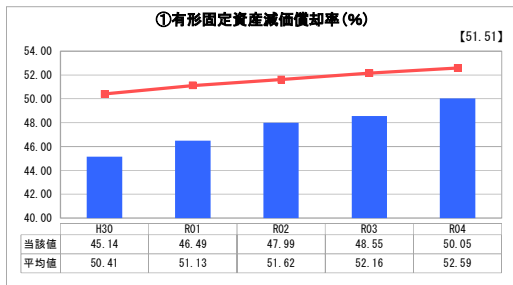
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
コロナ禍における外出自粛等の制限緩和及び給水人口減少の影響で、配水量及び給水収益が減少し、また、国際情勢の変化などによる光熱水費等の上昇により、比率が前年度を下回った。
 - ②流動比率
100%を超え流動資産の9割近くを現金預金で保有していることから、短期的な債務に対する支払能力も有している。
 - ③企業債残高対給水収益比率
借入額抑制による残高の減少に伴い、類似団体より低い傾向にあるが、今後も施設等が見込まれるため、比率の適正管理に努める。
 - ④料金回収率
100%を超え適切な料金収入が確保されており、必要経費を水道料金で賄うことができている。
 - ⑤給水原価
光熱水費等の上昇に伴い、経常費用が増加したことにより増加した。
 - ⑥施設利用率
類似団体の平均値を上回っており、施設を効率的に稼働できている。今後も施設規模の適正化を図り、施設利用率の向上に努めていく。
※令和3年度数値正しくは67.57%
(決算状況調査数値誤りにより)
 - ⑦有収率
漏水対策の効果により、類似団体よりも高い値を維持している。今後も効率的な水道経営に努める。
- ### 2. 老朽化の状況について
- ①有形固定資産減価償却率
類似団体の平均値より下回っているが上昇傾向にある。引き続き、水道施設総合管理計画に基づき、計画的な施設更新に努める。
 - ②管路経年化率
類似団体の平均値より下回っているが上昇傾向にある。引き続き、管路更新計画に基づき、計画的な更新に努める。
 - ③管路更新率
管路更新計画に基づき、計画的な更新を図り、新たな工法の採用等によるコストダウンに努め、必要な投資を行う。
※令和元年度数値正しくは0.75%
(決算状況調査数値誤りにより)

全体総括

現在のところ経営の健全性が確保されており、施設も有効に活用できていると考えられる。しかしながら、令和3年度に引き続き給水人口が減少しており、今後も給水収益の減少が見込まれる中、施設の老朽化に伴う更新費用は増加すると考えられることから、厳しい経営状況となることが予想される。

水需要の減少を見据えたダウンサイジングや新技術の採用などにより、社会生活及び経済活動に欠かせないライフラインとしての水道を堅持し、災害等に強い「強靱」な施設等により、「安全」で良質な水を「持続」して送り続けられるよう、引き続き、長期的・効率的な計画による事業運営に努めていく。